

あの夏、僕らは冒険に出かけた。  
 小さなリュックに、大きな勇気をつめこんで。



# ウルルの森の物語

A Tale of Ululu's Wonderful Forest

船越英一郎 深田恭子 濱口優(よみこ)/桑代貴明(子役) 北村沙羅(子役)/光石研 桜井幸子 大滝秀治

監督:長沼誠 脚本:吉田智子 森山あけみ 音楽:久石譲

制作指揮:宮崎洋 倉谷能成 企画:奥田誠治 市川南 神蔵克 プロデュース:藤村直人 日井央 プロデューサー:堀口慎 北島和久 渡邊浩仁  
 撮影:藤石修 照明:鈴木康介 録音:横野一氏工 美術:小池寛 装飾:山田好男 編集:三枝知生 VFXスーパーバイザー:酒村了 犬飼トリーナー-宮忠臣 音楽プロデューサー:岩瀬政雄 ラインプロデューサー:小橋孝裕 川上竜生  
 日本テレビ東宝提携作品 制作:日本テレビ放送網 東宝 ホリプロ 読売テレビ放送 パソパ D.N.ドリームパートナーズ 読売新聞 STVMMI-SDT-CIV-HIV-FBS 制作プロダクション:東宝映画 日テレアクション 配給:東宝

©2009「ウルルの森の物語」制作委員会 特許第1232号 7ch 日テレ 田舎

Ululu-movie.jp



劇場内での映画の  
 撮影・録音は禁止です。  
 映画館の情報は  
 www.eigakan.org  
 0120-550098

12月19日(土) 全国東宝系にてロードショー!

# オオカミの子・ウルル、君に出会えた奇跡。

北海道の大自然を舞台に、家族の絆を描いた感動物語。

小さな生命が、  
 大きな愛を教えてくれた。



# ウルルの森の物語

A Tale of Ululu's Wonderful Forest

船越英一郎 深田恭子 濱口優(よみこ)/桑代貴明(子役) 北村沙羅(子役)/光石研 桜井幸子 大滝秀治

監督:長沼誠 脚本:吉田智子 森山あけみ 音楽:久石譲

制作指揮:宮崎洋 倉谷能成 企画:奥田誠治 市川南 神蔵克 プロデュース:藤村直人 日井央 プロデューサー:堀口慎 北島和久 渡邊浩仁  
 撮影:藤石修 照明:鈴木康介 録音:横野一氏工 美術:小池寛 装飾:山田好男 編集:三枝知生 VFXスーパーバイザー:酒村了 犬飼トリーナー-宮忠臣 音楽プロデューサー:岩瀬政雄 ラインプロデューサー:小橋孝裕 川上竜生  
 日本テレビ東宝提携作品 制作:日本テレビ放送網 東宝 ホリプロ 読売テレビ放送 パソパ D.N.ドリームパートナーズ 読売新聞 STVMMI-SDT-CIV-HIV-FBS 制作プロダクション:東宝映画 日テレアクション 配給:東宝

©2009「ウルルの森の物語」制作委員会 特許第1232号 7ch 日テレ 田舎  
 Ululu-movie.jp



G  
 全世代  
 観覧可

# この冬、オオカミの赤ちゃんウルルと家族の絆が起こす奇跡に、 日本中があたたかな感動に包まれます。

## INTRODUCTION

日本中をあたたかい涙で包んだ  
『マリと子犬の物語』から2年——。  
この冬、北海道の大自然を舞台に、  
あらたなる感動の物語が誕生します。

新潟県中越地震を生き抜いた柴犬のマリと3匹の子犬と家族の絆を描き2007年に大ヒットを記録した『マリと子犬の物語』のスタッフ・キャストが再び集結。あらたなる感動エンターテインメントに挑戦します。

主演は、ドラマ出演にとどまらず、映画、CM、バラエティー、ドキュメンタリー番組の司会など、その活動の幅を大いに広げる船越英一郎。音楽には、数多くのスタジオ・ジブリ作品を手がけ、いまや国民的な作曲家として知られる、映画音楽界の巨匠・久石譲。そして、2009年日本アカデミー賞協会特別賞を受賞した、名ドッグトレーナーの宮忠臣。さらに、本作には新たなメンバーが参加します。映画、ドラマと話題作への出演が続く中、『マリと子犬の物語』を観て心から感動し、本作への出演を果たした深田恭子。その他にも、よみこの濱口優、光石研、桜井幸子、大滝秀治ら豪華共演陣が顔を揃えました。そして、北海道の美しい大自然を舞台に、愛くるしいオオカミの赤ちゃんウルルをはじめ、キタキツネ、エゾシカ、エゾリスなどたくさんのかわいらしい野生動物たちもスクリーンを彩ります。

しずくは、  
絶対お母さんに会いたい。  
ウルルも、絶対そっだと思っ。



## STORY

東京に住む昂(桑代貴明)としずく(北村沙羅)の兄妹は、母親・夏子(桜井幸子)の入院をきっかけに北海道に行くことになった。5年前の離婚以来、北海道で暮らす野生動物救命所の獣医にして父である大慈(船越英一郎)が2人を迎えるが、ほとんど生活を共にしたことのない父との生活に兄妹は戸惑いをみせる。

しかし、美しい大自然やたくさんの野生動物たちとの出会いと触れ合い、そして大慈の妹で動物カメラマンの千恵(深田恭子)や牧場で働く拓馬(濱口優)の優しさによって、寂しさを徐々に吹き飛ばしていく。

そんなある日、しずくは一人ぼっちのオオカミに似た子犬に出会う。母親と離れ離れになった子犬に自らの境遇を重ねるしずくは、世話をすることを条件に飼うことを許してもらおう。“ウルル”と名付けたその子犬との幸せな日々。それは、いつまでも続くのだと思えた。

そんな折、野生動物保護協会の分子生体学者・長谷部(光石研)が大慈の家を訪れ、ウルルは犬ではなく、絶滅したはずのエゾオオカミの子供の可能性が高いと主張し、しかるべき機関で預かるべきだと言う。

しかし、ウルルを預けてしまえば、もう二度と自分たちの元へ戻ってこないと思った昂としずくは、母親オオカミの元へ返そうと、ウルルを連れて、旅に出る。「オオカミの国」と呼ばれる伝説の“ホロケジ”(アイヌ語で“オオカミの棲むところ”の意)を目指して…。



どんなに離れていても、家族の絆は、奇跡を起こす。